

2. 車椅子レクダンスによる高齢者及び身障者の活性化

グループ名：車椅子レクダンス 矢車草の会 恵庭支部
住 所：北海道恵庭市中島町5丁目4-7
代 表 者：支部長 平 嶋 修 作

1、活動目的

車椅子レクダンスの普及と、若年層と高齢層の交流の活性化。

車椅子レクダンスに参加する事による年配の方の健康保持、音とリズムに合わせて動くことによる頭脳の活性化が大きな目的です。

同時に、複数の人々が楽しく参加できる気軽さを元に、若年層・高齢層が壁を隔てる事無くふれあえる楽しさも広めています。

2、活動概要

地域の老人養護施設を訪問し「ビューティフル・サンデー」「幸せなら手をたたこう」などの馴染み深い曲にあわせて踊る。

踊りは車椅子に座っている人1人と、立っている人1人の2人ペアで行い、互いに曲に合わせてリズムを取りながら、立っている人が踊りをリードする方式。

なお、車椅子に座っている方の手や足が不自由な場合には、更に車椅子の後ろから介助人1人が付き、合計3人でのダンスとなる。

時にはジャンケン等も交えている為、誰もが楽しめる内容となっている。

踊りは矢車草本部が考案するものの他、地域（恵庭）の曲「すずらん踊り」を利用したオリジナルもある。

3、活動成果

定期的な車椅子レクダンスの実施により、硬い表情だった高齢者も次第に穏やかな明るい顔になり、リズムに合わせて楽しく踊るダンスの効用が確信された。

また、次第に身体も動くようになり、健康面での効用も確認されている。

4、決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	50,000-
支出	ポータブルCDプレーヤー	47,250-
	交通費	7,200-
	教材費	6,000-
	CD代	2,980-
	消耗品費	485-
	合計	63,915-

5、購入機材の使用成果

音質、音量、操作性ともに優れている為、聴覚の弱い高齢者も難なく笑顔で踊れるようになり、より一層車椅子レクダンス実施が円滑になった。

6、購入機材の活用実績

- (1) 平成22年11月 4日 千歳市内にて車椅子レクダンス普及講習会開催
- (2) " 11月25日 恵庭市内グループホームにて車椅子レクダンス実施
- (3) " 12月 9日 千歳市内福祉施設にて車椅子レクダンス実施
- (4) " 12月16日 恵庭市内グループホームにて車椅子レクダンス実施
- (5) 平成23年 1月13日 恵庭市内グループホームにて車椅子レクダンス実施
- (6) " 2月 3日 恵庭市内グループホームにて車椅子レクダンス実施
- (7) " 3月10日 恵庭ライオンズクラブに対し車椅子レクダンスを展示
- (8) " 3月20日 苫小牧市内にて車椅子レクダンスを展示

7、活動の写真



①聴覚の弱い高齢者もリズムに合わせて楽しく踊っています。



②恵庭ふれあい福祉祭りに参加した時の写真です。